

札幌市

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた
平成29年度の目標とその達成状況

目標：長期入院者の地域移行に関する課題整理
(札幌市自立支援協議会地域生活移行推進プロジェクト)

【達成状況】

- ・長期入院者の地域移行に向けた取り組みは各精神科病院で差異があり、プロジェクトに参加している医療機関（市内37病院中7病院）においても同様の状況である。そのため、プロジェクトとしての取り組みを進めるにあたっては各病院の実情を考慮する必要があり、一律の取り組みでは進展しづらいことが明らかになった。
- ・地域移行支援制度やピアサポーターを活用した退院支援の取り組み自体が精神科病院や相談支援事業所等の関係機関に十分に浸透していないことが確認されたことから、プロジェクトの取り組みで蓄積された医療と福祉の具体的な連携事例や支援内容等について、市内医療機関、相談支援事業所、GHスタッフを対象とした実践報告会を開催することとした（H30.2開催）。

目標：精神科病院と相談支援事業所の連携による地域移行事例の蓄積・共有
(札幌市自立支援協議会地域生活移行推進プロジェクト)

【達成状況】

- ①プロジェクトの会議において事例報告を行い、共有を図った。
- ②プロジェクトの構成員等（精神科病院、相談支援事業所）が関与した地域移行・地域定着の事例について、前述のとおり、市内医療機関、相談支援事業所、GHスタッフを対象とした実践報告会を開催することとした。

平成30年度の実行方針

1. 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築にあたっての、保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置に向けた検討